

1. 基本方針

法人の理念に沿って、各事業所との連携を図り、繋がりのある居宅及び施設サービスを提供できるように、必要な情報を提供しスムーズな連絡調整を行なえるよう支援を行ってきた。

- ・情報提供 = 介護報酬改定に伴う新着情報や資料の提供。また、各事業所に説明。
- ・手続き等 = 新採用職員への必要な手続き及び諸規程の説明会を実施
- ・行事の参加 = 福祉会やホームの行事へ積極的に参加

2. 基本的姿勢

各事業所の土台となり、各事業所をサポート、後方支援する役目を担ってきた。
(事務的な作業については、率先して資料作成等を行ってきた。)

3. 具体的な施策

前年度の課題から、『勤め人としての基本姿勢』『ルールとモラル』について勉強会を行なう。

(1) 福祉人としての福祉の心についての勉強会の実施

- ・新採用者に対しては2日間実施。反面、従来の職員まで手を伸ばすことができず、反省する点であった。

(2) 大人としての挨拶やモラル、そしてルールの意味を再度周知徹底する。

- ・(1)と同様に実施。反省点についても同様

4. 一般業務

(1) 各制度の熟知に努める。

- ① 今年度は、介護報酬改定が年度末に確定してくるなど時間的余裕もなく、それに伴う算定基準資料や規程、重要事項説明書等を作成するため、担当者は、積極的に制度及び関連情報を収集し、期日内に仕上げると共に各事業所にフィードバックしてきた。
- ② 30床増築、チップボイラーの導入等、1年間の事業量としては、かなりボリュームがあるものの、分担により効率よく実績報告することができた。

(2) 広報誌の発行

- ① 茶団夢=年4回(6月、9月、1月、3月)発行
(年2回発行から年4回発行することができ、タイムリーな情報提供に繋がった。)

(3) 業務の効率化

- ① 業務内容を再点検し、無駄な物品の購入を控え、節約をしながら、施設全体がより効率的且つスムーズに業務遂行できるよう努めてきた。

(評価)

今年度は、目標を達成できなかったものも部分的にはあり、次年度で取り組まなければならないが、反面、通常の業務に加え、3年に1度の介護報酬の改定や、30床増築、チップボイラーの導入等、激務の1年となったものの、職員の創意工夫で業務効率を上げ、また、それ以上努力して頂きクリアできたことは頭の下がる思いであった。